

令和2年度事業報告

1) 普及活動について

① 講座の開催

土人形を作ろう【中止】 高砂と土雛コース

期 日：延べ4日 7月25日、26日、8月23日、8月30日

定 員：20名

講 師：島村委員・柴田千歌氏

- ・実施予定だった「土人形を作ろう」は、新型コロナウイルスの影響により中止いたしました。

② 企画展・特別展の開催

作品寄贈記念特別展「平尾秀明 日本画展」

期 間：3月20日（金・祝）～7月12日（日）

開催日数：延べ47日

来館者数：196名（令和元年度分と合わせると述べ364名）

- ・令和2年3月20日から開催した「平尾秀明 日本画展」は、当初5月10日までの会期でしたが、新型コロナウイルスの影響により4月4日から5月31日まで臨時休館となったため、7月12日まで会期を延長して開催しました。
- ・国際陶磁器フェスティバルにあわせて収蔵品を公開するミニ企画展を予定していましたが、国際陶磁器フェスティバル延期および新型コロナウイルスの影響により中止しました。

2) その他

① 紺綬褒章について

- ・平尾秀明氏作品の寄贈及び天野裕夫氏の寄贈に対する紺綬褒章は令和2年4月25日付で授与され、7月17日に市役所で伝達式が行われました。なお、平尾氏については東京都在住で都外への移動自粛の状況にあることから褒章は郵送しました。

② 新型コロナウイルスに対する対応について

- ・4月4日から5月31日まで臨時休館しました。
- ・6月2日から再開しましたが、手指の消毒等感染防止対策を実施しています。

資料

令和2年度入館者数 (単位:人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計
4	8	2	0	0	10
5	0	0	0	0	0
6	122	5	0	0	127
7	119	20	0	0	139
8	113	34	0	0	147
9	130	50	7	123	310
10	81	84	12	227	404
11	164	167	78	151	560
12	54	44	0	0	98
1	56	60	0	0	116
2	74	96	0	0	170
3	161	300	0	0	461
合計	1,082	862	97	501	2,542

令和元年度入館者数 (単位:人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計
4	67	189	52	0	309
5	1,402	1,508	64	0	3,282
6	67	82	50	137	336
7	92	112	0	0	204
8	191	256	18	40	505
9	147	144	24	18	333
10	276	208	0	0	484
11	281	148	14	15	458
12	107	84	0	0	191
1	58	57	11	13	139
2	61	79	0	0	140
3	136	98	0	0	234
合計	2,885	2,965	233	223	6,306

天野さんは同町出身、高
 校卒業後、関東で作品制作
 を進めていたが、二年前に
 同町に戻り、制作に振り直
 る。昨年四月の瑞浪北
 北中学校開校に際して、二
 〇一六年に制作した備器と
 ブロンズを組み合わせた作
 品を寄付。作品は同校一階
 ロビーに展示されている。
 市役所で水野光二市長か
 ら褒章を受け取った天野さ
 んは「身に余る光栄。これ
 からも地元で作品制作
 に取り組みたい」と意気込
 んだ。水野市長は「新たな
 スタートを切った瑞浪北中
 のために作品を寄贈してい
 たのだと大変ありがたい」と
 感謝を述べた。

瑞浪北中へ作品寄付
 紺綬褒章に天野さん
 市役所で褒章伝達



公益のために多額の寄付
 をした人に贈られる今宵の
 紺綬褒章を受章した瑞浪市
 大原町の彫刻家天野裕夫さ
 ん。二十七日、市役所を
 訪れ、褒章の伝達を受け
 た。

紺綬褒章伝達（天野氏）の新聞記事

令和3年度の事業について

1) 普及活動について

① 講座の開催

例年夏期に実施している「土人形を作ろう」は新型コロナウイルス予防の観点から開催を見送ることとします。

② 企画展の開催

「天野裕夫彫刻展 大湫大杉のカタチ」

開催予定期間：9月11日（土）～11月14日（日）

開催予定場所：市之瀬記念美術館第一展示室

国際陶磁器フェスティバルの共催事業（予定）として、大湫神明神社の大杉の木材を利用した天野裕夫氏作品の企画展を開催します。また、これにあわせて大杉保存事業や地域活動を発信する予定です。

※文化施設における国際陶磁器フェスティバル協賛事業は他に陶磁資料館で「中山道界限のやきもの」（5月1日～8月29日）、「山五陶業 洋食器の世界」（9月17日～11月7日）を開催します。

2) その他

新博物館について

今後新博物館を設立する方向で動いており、当課としては化石博物館、陶磁資料館、美術館の3館を統合した新博物館を建設したいと考えています。具体的な計画が決まってきた段階で協議会でも報告する予定です。